
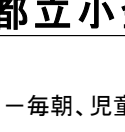


平成31年度 都立学校・学校経営シート

校章	 都立小金井特別支援学校		知的障害	通学区域	武蔵野市(一部)、小金井市、小平市										
	 朝日の学校と期待の笑顔 ー毎朝、児童・生徒が期待の笑顔で登校する学校を目指してー			進路実績	知的障害特別支援学校高等部普通科										
基本情報	所在地	〒 184-0005 小金井市桜町二丁目1番14号	電話番号	042-384-6881	本教育課程の特徴	①	人権教育の推進								
	アクセス	(1) JR中央線 武蔵小金井駅 徒歩約15分 (2) 西武バス 本町四丁目 徒歩約3分				②	授業づくり(自閉症教育の充実)								
本設置学部	本設置学部	小学部、中学部		情報	副籍実施状況	③	キャリア教育の推進								
	幼児・児童生徒数	163名(小学部106名、中学部57名)				学校評価	実施率67%(直接的な交流35%、間接的な交流32%)								
	学級数	36学級(小学部23学級、中学部13学級)					アンケート回収率:保護者98%、児童・生徒(聴き取りを含む)100%、教員100% 実施時期:7月								
	スクールバス	6台(中型5台、小型1台)					ホームページ	http://www.koganei-sh.metro.tokyo.jp/site/zen/							
	その他														
目指す学校	人権を大切にす学校、児童・生徒のもつ可能性を伸ばす学校、障害の特性に応じた専門的な指導力を発揮する学校、共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育システム構築のため地域の特別支援教育の推進に貢献する学校、地域の関係機関と連携し本人・家庭を支援する学校、施設環境と設備を改善する学校、「チーム小金井」の責任ある組織人として教職員一人一人が教育及び校務に取り組む学校														
今年度の重点目標					今年度の取組と自己評価										
目標①	人権を尊重した教育の推進 1 児童・生徒への適切な呼名の仕方や言葉かけの徹底 2 体罰や不適切な指導の根絶 3 校内人権月間の設定及び人権研修による教職員の人権意識の向上			学校評価保護者アンケートの結果、人権に関する満足度は88%であった。 1 呼名の仕方については、全教職員での徹底に努めた。 2 体罰や不適切な指導、いじめの見逃しは0件だった。引き続き、根絶に向けた取組を徹底していく。 3 人権月間を各学期に設定するとともに人権に関する研修会を実施するなど、教職員の人権意識の向上に努めた。											
目標②	児童・生徒のけがや事故のない、安全・安心な学校の実現 1 事故防止及び事故対応のための訓練の実施 2 ヒヤリハットの迅速な報告による共有 3 地域関係機関と連携した宿泊防災訓練及び避難訓練の実施			児童・生徒の事故及び行方不明は、1件 1 負傷や行方不明、摂食時の食物アレルギー、水泳指導時の事故の対応訓練を、4～5月に実施した。年度当初に新校舎の安全点検を実施するなど、安全管理の徹底を図った。 2 アクシデント報告の書式改訂や、ヒヤリハット報告の手順確認等、事故の未然防止に向けた情報の共有に努めた。 3 中学部2年生での一泊二日宿泊防災訓練や、条件を秘匿した避難訓練等、実際の場面を想定した実効性ある訓練を実施した。											
目標③	副籍制度による交流の充実 東京都特別支援教育推進計画(第二期)の政策目標「副籍制度の利用率(直接交流又は間接交流実施率)平成38年度目標値小80%以上、中50%以上」の達成に向けて 1 コーディネーター通信、利用者との座談会等を通じた啓発 2 市教委主催小・中学校校長会等への依頼			副籍制度の利用率は、82%(前年度比15ポイント増)であった。 1 特別支援教育通信、副籍座談会、個別相談の機会等を通して、啓発に努めた。 2 小金井市、小平市の各教育委員会主催の小・中学校校長連絡会等での学校啓発活動を実施した。学校案内や全国公開研究会のパンフレット等を配布した。特別支援教育コーディネーターを通して地域の小・中学校や積極的に支援を行いセンター的機能を発揮した。											
数値目標	今年度の数値目標の内容				28年度		29年度		30年度		今年度		2年度	3年度	4年度
					目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
	目標①	児童・生徒の呼び方や言葉かけに関する保護者アンケートでの満足度(%)			100	95	100	98	100	95	100	88	100	100	100
	目標②	児童・生徒の骨折、頭部へのけが、行方不明等の年間事故発生件数(件)			0	1	0	0	0	2	0	1	0	0	0
目標③	副籍制度の利用率(小・中合わせた直接交流又は間接交流実施率)(%)			—	19	25	41	45	67	45	82	70	70	70	

スクールイメージ

小金井特別支援学校に携わる全ての方々

「朝日の学校と期待の笑顔」へ、チーム小金井一丸となって・・・



1 子供が喜んで通える学校を・・・

体罰、暴言、いじめ、不適切な呼名方法
 障害特性（自閉症含む）に応じた授業力不足



人権の尊重、全児童・生徒に対する「姓+さん、くん」
 外部専門員の活用等による指導内容・方法の充実

2 保護者が安心して子供を送り出せる学校を・・・

個の実態に応じた指導の不徹底
 子供のけがや事故



学校生活支援シート・個別指導計画の活用
 施設・設備の安全管理、関係者間の連携・引継の徹底

3 地域や都民から信頼される学校を・・・

地域からの孤立、閉塞感
 個人情報紛失、公務員の自覚欠如、前例踏襲



センター的機能の発揮、情報の積極的な発信
 個人情報の適切な管理、服務事故の防止、予算の適正な編成・管理・執行

4 職員が誇りをもって職務に当たれる学校を・・・

専門性の不足、曖昧な対応
 多忙感、焦燥感、孤立感



特支免許、研究設定(3年計画)、OJT、正しい日本語
 働き方改革、ライフ・ワーク・バランス、イクボス

作
っ
て
い
き
ま
す